

神田小の誇りは「明るい笑顔」と「元気なあいさつ」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



学校だより

No. 1 さいたま市立神田小学校
令和8年4月8日 発行 Tel (853) 4377
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>



自分らしい音色を奏でる

校長 中村 誠

お子様の御入学および御進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本校は、62名の新生を迎え、児童395名、14学級で令和8年度がスタートしました。たくさんのお出会いと希望の中で、「神田小の誇りは明るい笑顔と元気なあいさつ」「すべては神田の子の希望をはぐくむために」を合言葉に、元気よく進んでいきたいと思えます。令和8年度も、引き続きよろしくお願い申し上げます。

さて、新年度を迎え、子どもたちはそれぞれに新たな目標を胸に、学校生活をスタートさせていきます。目標を立てる際、「～を頑張る」と考える子が多いことでしょう。

この「頑張る」という言葉は、「頑(かたく)なに張(は)る」と書きます。糸がピンと張っている様子を思い浮かべてみてください。糸は、張りすぎてしまうと切れてしまいます。頑張ることは大切ですが、頑なに張りすぎることは、かえって自分の力を発揮できなくなることもあります。

バイオリンや琴などの弦楽器は、音を確認めながら弦の張り具合を丁寧に調整します。一つの楽器には、太い弦や細い弦があります、それぞれの弦がその弦に合った張り具合に調整し、音を奏でることで、全体として美しい音色が生まれるのです。頑張り方を弦楽器の弦に例えるのであれば、子どもたち一人一人が美しい音色を奏でることができる「ちょうどよい張り具合」があるはずです。

子どもたちには、無理をするのではなく、自分らしい音色を奏でられる頑張り方を見つけてほしいと願っています。私たち教職員も、その「ちょうどよい頑張り具合」を見つけられるよう、日々の教育活動を通して支えていく決意です。

保護者・地域の皆様におかれましては、今年度も本校の教育活動への御理解と御支援・御協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

学校教育目標

人間性豊かで 21世紀をたくましく生きる神田の子

かしく

たくましく

あたたかく

○育てたい子どもの姿

<かしく> 未来に向かって新たな発想を見出し、当事者となって取り組むことができる子

<たくましく> どんなことにも粘り強く、時には臨機応変に物事に立ち向かえる子

<あたたかく> 同じ目的に向かって「よい関係」を築き、あたたかい心で人に接することができる子

チャン

ス

チャ

レンジ

チェ

ンジ

「Chance にChallengeしてChangeする子」